

フォルテピアノの特性を踏まえた 古典派ピアノ曲の演奏法

～現代ピアノで「らしく」弾くためのヒント～

特別企画！当時の楽器を使用して



小倉貴久子 (おぐらきくこ)

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞“Cum Laude”を得て首席卒業。第3回日本モーツァルト音楽コンクールでピアノ部門第1位。1993年、ブルージュ国際古楽コンクールでアンサンブル部門第1位。1995年、同コンクールのフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。以後、ソロ、室内楽、協奏曲など、バロックから近現代まで幅広いレパートリーで活躍。TV、ラジオへの出演も多い。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが朝日新聞、読売新聞などの各新聞紙上や『レコード芸術』誌等で推薦盤や特選盤に選ばれている。CD「イギリス・ソナタ」は平成24年度文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉受賞。東京藝術大学古楽科非常勤講師。

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派ピアノ曲が作曲された当時のピアノ（フォルテピアノ）は、現代ピアノとは違ったしくみを持っています。どのような違いがあるのでしょうか。また、これらの作品を現代ピアノで演奏する際、フォルテピアノの特性をどう活かしたらよいのでしょうか。そして、古典派時代にみられた特有の奏法とは？フォルテピアノの第一人者が、現代ピアノの実演などを交えながら伝授します。

*クラヴィコード：ニコラ・バラッチー（ローマ 1776年）*バルトロメオ・クリストーフォリ（フィレンツェ 1726年の復元楽器）1999年山本宣夫復元*マテウス・シュタイン（伝）（ウィーン ca.1820年）*ジョン・ブロードウッド（ロンドン 1816年）スクエアタイプ*ジョン・ブロードウッド：（ロンドン 1821年）*ヨハン・シュバイクホーファー（ウィーン 1845年）*プレイエル（パリ 1846年）*シュトライチャー&サンズ（ウィーン 1861年）*エラール（ロンドン 1851年）*スタインウェイ（ニューヨーク 1885年）*ベーゼンドルファー（ウィーン 1903年）

講座内容

- ◆作曲家がイメージしたのは「この楽器」での演奏だった！
フォルテピアノの特徴
- ◆古典派ピアノ作品を弾く・教える前に知っておきたい
古典派時代特有の奏法
- ◆演奏のレベルと説得力がアップする
フォルテピアノの特徴を現代ピアノでの演奏に活かす工夫
「ここってどう弾くべき？」のお悩みが解決するかもしれません！

●日時 2019年 11月10日(日)

12:30 開場 / 13:00～14:00 講座

14:30～(お一人15分 定員6名)公開レッスンと聴講

16:00～17:00 山本宣夫氏によるレクチャー

「究極のオーディオシステムで蘇る珠玉のピアノの音色」
(フォルテピアノ ヤマモトコレクション 代表/フォルテピアノ修復家)

●会場 スペース クリストフォーリ堺

〒599-8126 堺市東区大美野 119-12

●受講料(税込) 15,000円 公開レッスン 3,000円

※公開レッスン受講者は講座受講料とレッスン料を合わせた金額になります。
※公開レッスンのみの受講はできません。

●教材「フォルテピアノから知る古典派ピアノ曲の奏法」
(音楽之友社) ※当日会場でも販売いたします

●お問合わせ・お申込み先

ぽこあぽこピアノ教室

<http://www.pocoapoco-piano.com>

TEL:090-3038-5515

メールアドレス:pocoapocopiano3@gmail.com

主催:ぽこあぽこピアノ教室 担当:中西美江

※QRコードからもお申し込みいただけます



キリトリ線

小倉貴久子 公開講座

2019年11月10日(日)

「古典派ピアノ曲の演奏法」

申込書

ぽこあぽこピアノ教室

申込日 月 日

お名前			
ご住所	〒		
TEL		E-Mail	
お申込み回	講座のみ	講座 + 公開レッスン	

※ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。